

## コスタリカ内政・外交定期報告(2024年8月)

### 【ポイント】

#### 内政

- ガンドカ・マンサニージョ事件の捜査開始

#### 外交

- ブルネル第一副大統領及び3閣僚の訪日
- ペニャ・パラグアイ大統領の当国訪問
- チャベス大統領のパナマ訪問
- 米国による携帯型検査用スキャナーの供与
- 米州機構(OAS)移民問題委員会の議長国選出

### 【本文】

#### 内政

- ガンドカ・マンサニージョ事件の捜査開始

8月14日、国会の環境委員会は、ガンドカ・マンサニージョ国立野生生物保護区内またはその周辺にある土地における樹木の違法伐採に関し、国家機関による許可があったかどうか調査を行うことを全会一致で承認した。大統領府とタラマンカ市当局の関係性や、一部の土地が国家財産であるかどうか、また、土地が不正に取得されたかどうかについても今後調査が行われる。

#### 外交

- ブルネル第一副大統領及び3閣僚の訪日

(1)8月3日～9日、ブルネル第一副大統領及びアンドレ外相は訪日し、5日、松井一寛広島市長との会談を実施した。6日には海外の首脳級では史上初となる広島市平和記念式典に参列し、同式典後、湯崎英彦広島県知事との会談を実施した。

(2)7日、同第一副大統領は、国際協力機構(JICA)を訪問し、ジェンダーやブルー・グリーンエコノミー分野の協力に係る覚書(MoC)の署名を行った。

(3)8日には、トバール貿易大臣及びボガンテス科学技術通信大臣も合流し、同第一副大統領一行は、林官房長官(当時)主催昼食会に出席した。また同日午後、アンドレ外相は、上川外相(当時)と外相会談を実施した。

(4)7日～8日、ブルネル第一副大統領一行は、トバール貿易大臣主導のもと、日本企業3社(日立、テルモ、パナソニック)を訪問した。また、コスタリカ貿易省主催のレセプションを実施したほか、トバール貿易大臣は国際協力銀行(JBIC)との覚書、ボガンテス科学技術通信大臣は総務省との覚書に調印した。

●ペニャ・パラグアイ大統領の当国訪問

8月19日、ペニャ・パラグアイ大統領は当国を訪問し、チャベス大統領と二国間会談を実施した。両首脳は、二国間の投資及び貿易の促進、観光、教育、エネルギー、技術革新、農産業の分野での協力の可能性を模索することへの関心を示した。

●チャベス大統領のパナマ訪問

8月23日、チャベス大統領及び4閣僚(外務大臣、治安大臣、貿易大臣、農牧大臣)はパナマを公式訪問し、ムリーノ大統領と二国間会談を実施した。両首脳は、外交・商業・農業・観光・安全保障の分野における関係強化に合意した。また、チャベス大統領は、パナマ政府より、両国の友好関係を強化したとして、パナマ国家最高勲章を受章した。

●米国による携帯型検査用スキャナーの供与

8月26日、米国政府は、当国政府に対し、携帯型検査用スキャナー10台(80万ドル相当)を供与した。供与式には、チャベス大統領、サモラ治安大臣が出席、テレス駐コスタリカ米国大使らが出席した。本スキャナーによる輸送機器やコンテナの検査を行うことで、麻薬・金銭・武器及び爆発物の検知が可能となる。

●米州機構(OAS)移民問題委員会の議長国選出

8月27日、コスタリカは、米州機構(OAS)移民問題委員会の議長国に全会一致で選出された。当国が同委員会の議長国を務めるのは初めてであり、アレハンドラ・ソラーノ駐OAS大使が率いる。